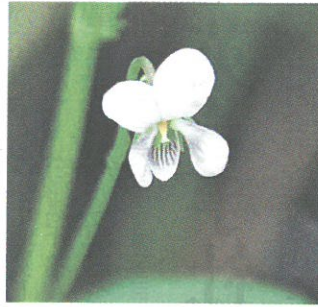


「タチスミレ、かわいい」

常総市菅生町の菅生小
常生沼 総沼
児童、希少植物を観察

常総市菅生町の菅生小（谷口みづえ校長）は、学校近くの菅生沼で、希少植物のタチスミレの観察会を



タチスミレの白い花

行った。地元の環境グループ「菅生沼を考える会」と県自然博物館（坂東市）の協力を得て実施。5年生児童約30人が参加し、沼が育む貴重な自然について考えた。タチスミレは絶滅危惧種に指定されており、菅生沼にも生育。毎年5月中旬～6月初旬に白い花を咲かす。昨年12月には常総市の天然記念物にも指定された。

タチスミレを観察する菅生小の児童＝常総市の菅生沼

この日は菅生沼を考える会の佐賀勇太郎会長と同博物館学芸員の鶴沢美穂子さんが案内。開花時期のピークは過ぎていたものの、草むらから1枚弱の白い花を見つけると、児童たちから「かわいい」「小さい」と歓声が上がった。

鶴沢さんは、河川の増水によって浸水する菅生沼の環境が、タチスミレの生育条件に適していると説明。同じく絶滅危惧種で白い花を咲かすハナムグラも観察し、「菅生沼には珍しい植物がたくさんある」と教えた。

佐賀会長は「これから沼の自然環境に目を向けてほしい」と子どもたちに要望。参加した菅谷美緒さん（11）は「菅生沼は地元の宝物。タチスミレもみんなで大切に守っていきたい」と笑顔で話した。（今橋憲正）